

## 一般入試問題での出題ミスについて

2月14日(月)に経営学部と文学部の受験者を対象に実施いたしました「創価大学2011年度一般入学試験」において、国語の試験科目の出題に誤りがあったことが、合否判定前に受験生から指摘があり判明いたしました。

誤りがあった箇所は、大問 一 の 問一 (解答番号 3) で、1つの正答を選ばせる問題でしたが、5つの選択肢に正答となるものが2つ存在することが分かりました。よって、正解を特定することができないとして、国語を受験した全員(1,225名)を正解といたしました。国語における、この問題の配点は100点中3点です。合格発表は2月22日に行います。

<当該問題の抜粋は次のとおりです>

大問 一 の 問一 (解答番号 3)

傍線部ア～ウの漢字と同じ漢字を含むものを、次の各群の①～⑤から、それぞれ一つずつ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、アが1、イが2、ウが3。

- ウ ヨ イン
- ① 事故をユウインする
  - ② インショウに残る作品
  - ③ 日本語のボイン
  - ④ インブンで詩をよむ
  - ⑤ ゴウインに勧誘する

<当該問題の正答について>

④の「韻文」を正答としていましたが、③には「母音」の他に広辞苑等には「母韻」という漢字の記載もあるため、どちらも正答といたしました。

本学の入試問題につきましては、複数の委員会を設け、作題者および学内の点検委員が、作題時にそれぞれ複数回、点検を行っておりますが、誤りを発見することができませんでした。このようなミスが起こり、受験生をはじめ関係者の皆様に心からお詫び申し上げます。今後、このような事態が決して発生しないよう、作題および事前の確認体制を尚一層強化し、万全を期してまいります。

なお、この件については、当該受験者には個別に文書を送付いたします。

お問い合わせについては、創価大学入試事務室(042-691-4617)までお願いいたします。